

# 核兵器廃絶をめざす 富山医師・医学者の会

No. 60  
会報

富山市桜橋通り6-13  
TEL 076-442-8000  
世話人代表 金井 英子

## 2023年夏 市民公開講演会

# 原発固執で滅びる日本

～電力不足も料金高騰も産業壊滅も全て原発が原因だった～

2023年

※講師は会場で講演されます

日時

8月11日(金・祝)

14:00～15:45

会場

ホテルグランテラス富山

3F 清風の間 (定員60席)

申込

参加費無料

- ・どなたでも参加でき、オンライン参加も可能です
- ・参加には事前のお申し込みが必要です



政治経済アナリスト  
元内閣審議官・元経済産業省官僚

古賀 茂明 氏

知ってますか？ 柏崎刈羽原発の耐震性は三井ホームの1/4。原発事故の賠償保険限度額はわずか1,200億円。避難計画は規制委審査を受けていない。原発の核のゴミ処分はできない。夏も冬も電気は余っている。昼間電力はタダにできる。原発は小さな漁船で攻撃できる。原発維持は核兵器製造のため。原発事故・核戦争・産業崩壊の三重危機が待っている。(古賀茂明)

■主催 核兵器廃絶をめざす富山医師・医学者の会

■後援 富山県保険医協会

## 2023年秋 被爆者 講演のつどい

2023年

9月23日(土)

14:00～16:00

富山電気ビル 8号室

参加費無料

高齢化でお話できる被爆者が年々少なくなっている現在、飯田さんは貴重な語り部です。ぜひご参加ください。

※講師は会場で講演されます



飯田 國彦 氏

■主催 核兵器廃絶をめざす富山医師・医学者の会

■後援 富山県被爆者協議会、富山県被爆2世・3世の会  
富山県保険医協会(予定)

(いいた くにひこ)

広島原爆900m被爆者、原爆孤児、被爆体験証言者(広島平和文化センター委嘱・維持会員)

1942年満州生まれ

1945年父が沖縄で戦死、母・姉・祖父が原爆死  
三菱重工業(広島)技術職員、キャタピラー三菱(株)敦賀所長・長岡・魚沼・富山支店長、定年退職後、第一レンタル(株)常務、富山家裁調停協会理事、日本交流分析協会理事長、富山ユネスコ協会副会長、富山大学・千葉工大・愛知看護大・富山福祉短大非常勤講師等を歴任。著書・論文多数。

# 当会世話人・松井法生先生を悼む

本年5月31日、当会世話人の松井先生が長い闘病の末に亡くなられました。松井先生は3年前の2020年の定期総会で世話人を引き受けられ、会報のあいさつ文で以下のように述べられていました。

「人生とは光陰矢のごとし、昨年還暦を迎えました。私に残された時間も少なくなり、家族をはじめ、現在と未来を生きる人々とのために少しでも力を尽くす、それが悔いのない人生に近づく事だと考えています。」

先生自身、こんなに早く逝くことになるとは…さぞ無念だったのではないかと思います。先生には謹んでお悔やみ申し上げます。



在りし日の松井先生（診察室にて）

松井先生のご遺志を引き継いで

富山協立病院 山本 美和

およそ一年前より療養されていましたが、本年五月三十一日、愛するご家族に見守られ、ご自宅で逝去されました。六十三歳でした。

糖尿病診療を中心に医師として活躍され、富山協立病院副院長、そして、一昨年から富山医療生活協同組合理事長を務められました。

誰にでも優しくすぎるくらいに優しく、ユーモアがあり、平和な世界を心から願っていた先生でした。

二〇二〇年にニューヨークで開催予定であった核不拡散条約（NPT）再検討会議に法人を代表して現地参加されることになり、皆の先頭に立って活動されていたことを思い出します。コロナ流行で開催が延期され、参加が叶わなかったことが悔やまれます。

病気療養中もその思いは色褪せず、化学療法中の少し体調が良い時には、ロシアのウクライナ侵攻に反対の気持ちを込め、ウクライナ国旗色の帽子をかぶって会議に出席されていたこともありました。

もつと一緒に苦労や喜びを分かち合っていたかったと残念でなりません。先生の生き方、ご遺志は、私の中で、そして、多くの人の中で生き続けます。

ご冥福を心よりお祈りいたします。

## 8/11 市民公開講演会（古賀茂明氏）の予備知識として紹介します

講師の古賀氏は、週刊朝日で「政官財の罪と罰」という連載記事を執筆していました。そのアーカイブを朝日新聞出版のニュースサイト AERAdot. で閲覧することができますので、その中から原稿のテーマを紹介します。事前にお読みいただければ、当日の講演でより深い理解が得られると思います。

### AERAdot. から

< 2023年 >

- 5/16 電力フェイクに騙されるな
- 4/25 ドイツにあって日本にない哲学
- 2/21 危ない原発ほど延命される愚策

< 2022年 >

- 8/30 『原発をとめた裁判長』の教え
- 3/22 笑止千万！ 自民の原発再稼働論

### 「電力フェイクに騙されるな」より抜粋

22年末～23年の冬はウクライナ危機により、ロシアの天然ガスへの依存度が高いドイツは最も深刻な打撃を受けた。一方、フランスは平時の原発依存度が70%で、ロシア産ガスへの依存度が低かったため、普通に考えると最も打撃の小さな国のはずだった。

しかし、現実には、フランスでは、主力であるはずの原発が、老朽化による事故や故障などで半数が稼働停止に陥り、停電の危機に陥った。意外かもしれないが、実はこの状況下でドイツはフランスに大量に電力を供給してフランスの電力危機回避に大きく貢献した。

(中略)

日本では、老朽化しても危ないとは言えないと原子力規制委員長が強弁し、60年を超えても動かせる法律を国会で審議中だが、これがいかに非常識かがわかるのではないかと。電力フェイクに騙されてはいけない。